

# Do!

2023.SPRING

5月号

VOL.480

DOKKYO UNIVERSITY NEWS



02\_学長メッセージ

03\_2023年度入学式、2022年度卒業式

04\_特集\_Campus Spot

12\_コミュニティスクエア竣工

# 大学は 「新しい学問生活への 出発」の場

獨協大学学長 山路朝彦



山路朝彦(やまじ・あさひこ)

1953年生まれ。81年東京外国語大学大学院修士課程外国語学研究所ゲルマン系言語専攻修士課程修了。86年獨協大学外国語学部専任講師、90年外国語学部助教授、01年外国語学部教授。本学における役職歴は、94～96年外国語学部教務主任、97～01年学長室委員、03～07年学生部長兼敬和館長、08～12年教務部長、12年～19年副学長兼総合企画部長および獨協学園理事。20年4月1日より学長に就任。

新年度を迎え、獨協大学では4月1日に入学式を開催し、2160名の学部生と7名の大学院生を迎えました。入学式では、「大学は学問を通じての人間形成の場である」という言葉が本学の建学理念であり、創設者である天野貞祐先生の言葉であるということを紹介しました。そして、その中の「学問」と「人間形成」という言葉について考え、獨協大学ではしっかりと学び、自らの成長を図ってほしいと述べました。

ここで改めて、大学での「学問」、皆さんにとっては「学ぶ」ということについて天野先生の述べられたことをもとに考えてみたいと思います。天野先生は獨協大学を創られるよりもずっと前から様々な大学とそこでの学びについて論じておられました。その中でも1940年、太平洋戦争(1941～1945)が始まる前の時期に行なわれた、ある講演の記録を読んでみましょう。天野先生は、大学において最も重要なのは学問の研究であるとされ、その大学での学問研究は次のようなものでなければならぬと述べておられます。

「学問の研究は原理を求め、学説をドグマとして採り入れないのであります。定説として受け取ることは大学的でない、私の述べることについてもそうであります。それはすべて決定されず互いに批判するもので定説として暗記するものであってはいけません。学説はすべて未決定であるからそれに如何なる批判的態度を取ってもいいと思います。

かく大学は決定されたもの安定したものも保存伝達をする場所ではない。従って中学の単なる上級学校でもなく、補習科でもない。新しい学問生活への出発であります」

私たちは高校まで、例えば世界や日本の歴史を一冊の教科書で学んできました。そこには現在で最も正しいと思われる優れた歴史の記述が並んでいました。しかし、それを天野先生が言われた「定説」と言い換えるかどうかでしょうか。定説は新しい発見があれば覆ることがある、そんな不安定なものに思えてきませんか。大学では先生方が、ある事象

に対して現在の理解、学説はこうだけれど、もっと別の要素が働いているのではないか、さらに詳細な分析が必要ではないか、逆にもっと大きな枠組みで捉えなければならぬのではないかと、日々、研究しています。つまり、天野先生がおっしゃるように、「学説はすべて未決定である」のです。「未決定」であればこそ、それに対して「批判的」、すなわち、ある学説に対して別の学説をぶつけて議論し合うこと、真偽を争うことが可能なのです。

大学は議論の場であり、お互いの考えをぶつけ合う場であり、単に暗記する場ではないのです。すべてが未決定の中で学ぶのですから、正解もなく、不安で仕方がないかもしれませんが、逆に言えば自由なのです。人の意見を強制されることなく、自分で考えることができるのです。天野先生は、そのような大学での学びを始める皆さんを「新しい学問生活への出発であります」と祝福なさっています。どうか天野先生の創られた獨協大学で「新しい学問生活」を開始し、自由に議論し、自由な「学問」を楽しんでください。

(引用は、『天野貞祐全集』第1巻『道理の感覚』栗田出版会1971年刊、360頁より)



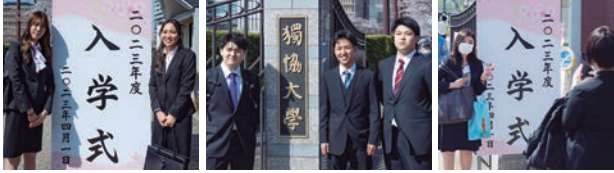


山路朝彦学長



入学式に出席する新入生

# 2023年度入学式 今年度は2,167名が入学



学内各所で記念撮影

〈学部〉ドイツ語学科:148名、英語学科:301名、フランス語学科:126名、交流文化学科:115名、言語文化学科:187名、経済学科:350名、経営学科:343名、国際環境経済学科:150名、法律学科:258名、国際関係法学科:94名、総合政策学科:88名  
合計 2,160名  
〈大学院〉法学研究科:1名、外国語学研究科:4名、経済学研究科:2名 合計7名

4月1日、35周年記念館アリーナにて2023年度入学式を挙行し、2167名が新たなスタートを切った。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学部を指定した2部構成で実施した。

式典で、山路朝彦学長は「教職員一同、皆さんが持っている素晴らしい能力を、この草加の地の獨協大学でさらに花咲かせることができるように努めます。皆さんは獨協大学で学ぶことに誇りと自信を持ち、この学修・生活環境の中で、自らを精一杯磨き上げる努力を怠らないでください」と式辞を述べた。続いて、吉田謙一郎獨協学園理事長は「本日の入学は皆さんが勉学に励んだ努力の結果です。心から敬意を表します。一生懸命勉学に励み、物事を俯瞰的に見られる幅広い教養と健全な批判的精神を養い、次の時代を切り拓く人物に育ってください」と激励の言葉を贈った。

また、駐日ドイツ連邦共和国大使館クラウス・フィッツェ首席公使より、「外国語の知識は、仕事をしていくうえでさまざまな可能性を拓いてくれます。皆さん、ぜひ好奇心を持ち続け、知識欲旺盛でください。学ぶことを決めてあきらめないで下さい」とお祝いと激励のメッセージが寄せられた。

入学式終了後、新入生たちは学生証の交付を受け、その後キャンパス内の各所で記念撮影する姿が見られた。

# 第56回 卒業式・ 第45回 学位記授与式

■ 学 士

学位記取得者は次のとおりです。

学 科	取得者数	総 代
ドイツ語学科	113名	中ノ目 亜子
英語学科	242名	VAIVRAND CALVIN VINCENT BENET
フランス語学科	91名	津田 さくら
交流文化学科	98名	青木 美紗都
言語文化学科	140名	参田 沙良
経済学科	276名	鈴木 千春
経営学科	277名	櫻井 樹
国際環境経済学科	121名	北川 優
法律学科	209名	保原 未桜
国際関係法学科	77名	宮川 弦
総合政策学科	65名	宮崎 貴裕

■ 修 士

研究科	取得者数	総 代
外国語学研究科	2名	青木 朋恵
経済学研究科	1名	蔣 承霖



学位記と共に記念撮影



各学科の総代が山路学長から学位記を受け取った

3月20日、第56回卒業式・第45回学位記授与式を挙行し、1712名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。

式典は、キャンパスおよび式典会場が密にならないよう学部を分け2部制で実施し、卒業生および、父母・保証人2名まで出席を可能とした。

山路朝彦学長は「本日の学位記授与は、コロナ禍でも『学びを止めない』という努力の成果であり、困難を克服して学位にふさわしい学びを修められたことを証明するものです。それぞれが得たものを、これからの社会における活動の場で精一杯発揮して、『優しい』社会を創り出していきましょう」と式辞を述べた。続いて、吉田謙一郎獨協学園理事長は、「自らが経験、観察したことを基盤として、物事の真偽を吟味し、置かれた環境で努力をしてください。夢を持ち、吟味力、俯瞰的視野、ポジティブシンキングのもとで新たな人生を切り拓いてください」と卒業生を激励した。

卒業生を代表し、第1部では工藤隆弥さん（法学部法律学科）、第2部では吉澤総一郎さん（経済学部経済学科）が答辞を述べた。

式典終了後には、袴やスーツを着た卒業生同士で思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。また、プロムナードには、クラブ・サークルの部員から寄せられた祝福と感謝の気持ちを添えたメッセージボードが、学生センターには、風船で装飾されたフォトスポットが設置されるなど、学内は祝福ムードに包まれた。

# 01 学生センター



黎明ホール

学生センターは、主に学友会団体の活動場所として利用されている施設です。この黎明ホールは、私の所属している舞踏研究会やダンス系サークル等の練習場所として活用されています。

## さんおすすめ! Campus Spot

ナビゲーター  
さん



今号の表紙を飾ってくれた

さんおすすめのキャンパススポットを  
2名の学生記者が取材しました!



学生記者  
さん



学生記者  
さん

# CLEAS (クリアス)

# 02



WordやExcelの講習会が受けられるほか、無料でモノクロ・カラー印刷ができるのでよく利用しています。



【開室時間】  
授業期間:月曜日～金曜日 8:45～18:30 土曜日 8:45～12:50  
授業期間外:月曜日～金曜日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:00

# 03 キャレルブース



1年生の時、カフェのように仕切られたキャレルブースを見つけて使うようになりました。今では1人で集中して勉強したい時にもよく使っています。



## 建学の碑





# 05 学生食堂



ソファー席がお気に入り、空き時間によく使っています。

【営業時間】月曜日～金曜日 11:30～13:30(施設利用可能時間は10:00～18:00)  
【休業日】土曜日・日曜日・祝日および長期休業期間

# 芝生広場 04



春や秋の暖かい時は、芝生広場でのんびり。

# 07 英語学習 サポートルーム



自分の学習スタイルに合わせて英語学習を計画・実践するためのサポートを何度でも無料で受けられるので英語習得のために使ってみようと思っています。

【開室時間】月曜日～金曜日 9:30～16:45  
※ドイツ語学科・フランス語学科・経済学部・法学部1～4年生が対象です。

# 06 ICZ (International Communication Zone) (様々な言語が飛び交う異文化交流ゾーン)

フランス語の部屋へ、本を読みに行きます。  
友人はチャットルームを多用していると聞いているので、語学や異文化に触れたい方に最適です。



【開室時間】月曜日～金曜日 8:45～19:00 土曜日、日曜日、祝日は閉室。  
※長期休業期間中は開室時間が異なります。

# 09 ぶっくぎやらしい DUO

書籍や雑誌の他に、文房具も販売しています。



【営業時間】月曜日～金曜日 9:30～16:00  
【休業日】土曜日、日曜日、祝祭日、入試期間、大学創立記念日(10/22)、年末年始

# 図書館 08



100万冊を超える蔵書数を誇る図書館。様々な資料、サービスで学びをサポートしてくれます。

【開館時間】  
授業期間:  
月曜日～金曜日 8:30～20:00 土曜日 8:30～18:00  
授業期間外:  
月曜日～土曜日 9:00～18:00



☆他にも、こんなスポットがあります!

## 獨協歴史ギャラリー

【開館時間】月曜日～金曜日 9:00～16:30

獨逸学協会の創設から現代に至る獨協学園史を、収蔵品などの常設展示や、日独交流などテーマを設けた企画展により紹介しています。



### 獨協大学英語教育研究会 (DUETA) ワークショップをハイブリッド形式にて開催

3月11日、獨協大学英語教育研究会 (DUETA) 主催の第12回ワークショップ『深い思考を促す言語活動の指導と評価』が対面とオンライン併用のハイブリッド形式にて開催された。講師は、大久保泰希氏 (群馬県立高崎高等学校教諭、本学卒業生) が務め、およそ70名が参加した。参加者からは、「学校教育で英語力をつける実践を見せていただきました」「英語教育を通して、思考力を身に付けることができることを再認識させていただきました」といった声が寄せられた。



### キャリアセンターにオンライン就職活動用の完全個室ブースを設置

キャリアセンター事務課は、キャリアセンター内にWEB面接用の完全個室ブース「テレキューブ」を3台設置した。

就職活動のオンライン化に伴い、学内で集中してWEB面接等を受験したいという学生からの要望に応える形でコンセント、照明、防音環境を備えた1人用の個室の導入が実現した。3月22日から利用受付が開始され、連日多くの利用者が訪れている。

大田裕子キャリアセンター事務課長は、「今後も多くの企業が選考方法の一つとしてWEB選考を継続していくと思われます。今回、設置した個室ブースは選考に集中する環境が整っているので、ぜひ利用していただき、内定に繋げて欲しいです」と在学生にエールを送った。



### 全学共通カリキュラム 外国語科目群「英語」部門 非常勤講師を対象としたFDミーティングを実施

3月24日、全学共通カリキュラム「英語」部門 (全カリ英語) の非常勤講師を対象としたFD (ファカルティ・ディベロップメント) ミーティングが開催された。

「全カリ英語」は、外国語学部ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部の学生が履修する共通の英語カリキュラムであり、このミーティングは教育の充実を図るために毎年3月に開催されている。今回は51名の担当教員が参加した。

プログラムに参加した教員からは、「たくさんの先生方と研修を通じて普段どのように授業を行っているのか情報共有ができた。より良い授業を考える際のアイデアももらうことができ、とても良い機会だった」との感想が寄せられた。



### クラブ・サークルが 新入部員を募集中

獨協大学の29の文化会団体 (部)、39の体育会団体 (部)、42の愛好会団体 (サークル) では、現在、新入部員を募集している。

各団体の情報は、以下から取得可能。

- 大学ホームページでどんな団体があるか調査  
トップページ ▶ 学生生活 ▶ クラブ・サークル
- 冊子『雄飛』で団体の活動を確認
- 獨協大学学友会新入生歓迎ページ (二次元コード) をチェック
- 学友会事務課 (学生センター3階) スタッフに相談



### 学生支援室を 天野貞祐記念館1階に開設

学生支援室は障がいのある学生の相談窓口です。障がい学生支援コーディネーターが、学修や学生生活に関する相談を受け付けます。まずは、下記二次元コードまたは大学ホームページからご連絡ください。

■ 受付時間: 月～金 9:00～17:00

■ 場所: 天野貞祐記念館1階・キャリアセンター隣

■ 支援に関するお問い合わせ:

大学HP ▶ 在学生の方へ ▶ 障がいのある学生支援 ▶ 在学生用お問い合わせフォーム



詳しくは大学HPをご覧ください。



### オープンカレッジ特別講座 「シェイクスピアとイギリスのナショナリズム」

3月18日、W-103教室にてオープンカレッジ特別講座を開催した。講師は前沢浩子外国語学部教授。事前申込制で抽選に通った170人が来場し、併用したオンライン配信では215人が受講した。

講座では、16世紀から現代まで、イギリスを3つの時代区分に大別し、各時代におけるシェイクスピアの受容や位置付けを考察した。具体的な作品を挙げながらの解説や時代背景、社会事情に関する広範な説明は、一般的なシェイクスピア像を見直す機会になったようだ。

受講者は高校生から80歳代の幅広い世代で構成され、思い思いに大学の生涯学習講座を堪能した様子だった。



担当した前沢浩子教授



## 父母の会から 給水器、オープンレンジ、時計が 寄贈されました

3月13日、獨協大学父母の会から、学生の生活環境の充実及び本学SDGs推進活動を支援するため35周年記念館アリーナに「給水器」が寄贈されました。これで本学における給水器の設置は学生センター1階、中央棟1階、コミュニティスクエア(2台)に続き5台となりました。また、コミュニティスクエア竣工記念品として、カフェラウンジに「オープンレンジ」と「時計」が寄贈されました。田口裕美子父母の会代表幹事は「これからも父母の会は学生の皆さんが快適な学生生活を送れるよう支援していきたい」と語っていました。



## 2023年度入試状況報告

2023年度の獨協大学入学志願者数が確定した。11月に実施した、いわゆる年内入試と言われる「学校推薦型選抜、総合型選抜、その他選抜」では、合計1,167人(前年度1,130人)の志願者数となった(編入・再入学は含まず)。また一般選抜においては、合計で18,390人(前年度18,499人)の志願者数であった。年内入試と一般選抜を合計すると、全体で19,557人(前年度19,629人)となった。ここ数年、受験生の年内入試志向が高まっているが、本学でも年内入試の志願者数が増えていく傾向にある。

指物敏一入試課長は「2024年度入試に向けては、受験人口の減少が更に進み厳しい受験環境となるが、引き続き受験生の視点に立った入試制度改革を推進するとともに、オープンキャンパスやSNSなども積極的に活用しながら獨協大学の魅力を伝えていく。ぜひ、在学生の皆さまにもお力添えをいただきたい」と語っている。



2022年に行われたオープンキャンパスの様子

## 学生のキャンパス入構とマスク着用について

5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更となる。それに伴い、対面での講義等も増え、学生たちでキャンパスが賑わいを見せている。

マスク着用に関する、国の方針は、個人の判断に委ねることを基本としており、学校においては4月1日から適用となった。本学では、当面の間、着用を推奨しつつ、本人の意向を尊重し、マスクを外すことを妨げないものとしている。5月8日以降の対応については、随時、大学ホームページ、ポータルサイト「PorTaII」で情報発信していく。



## 卒業生の寄付金により、 コミュニティスクエアが充実

獨協埼玉高校、獨協大学ご出身の卒業生から獨協学園に対して多額の寄付があり、本学のコミュニティスクエア「カフェラウンジ」設備の充実に充てられました。

メインのキャンパスでは実施が難しい活動等を行うことができる「コミュニティスクエア」。多目的利用のための施設として、ホール、ワークラボの他、アイランドキッチンを備えたカフェラウンジを設置。新たな環境でのゼミ、学友会活動、地域連携を図るイベント等の利用が期待されています。

同施設の詳細は、12ページをご覧ください。



## 進路選択を行う学生に対する キャリアセンターの支援体制

キャリアセンターでは皆さんの進路選択をサポートする様々な取り組みをしています。窓口相談やガイダンス・講座への参加など積極的に活用して下さい。PorTaII、LINEにて具体的な内容を連絡しますので、最新の情報を必ず確認してください。LINE登録についてはガイダンス・講座、キャリアセンターにてお知らせします。キャリアセンターは皆さんの進路選択をしっかりサポートしていきます。

### キャリアセンターの主な就職支援 (4月1日現在)

- ・相談(対面/WEB)
- ・OB・OG情報照会(対面/WEB)
- ・資料閲覧
- ・就活に関するガイダンス(対面/WEB)
- ・求人情報の掲示と配信(PorTaII)
- ・就職活動体験記の配信(PorTaII)
- ・WEB個室ブース(テレキューブ)  
など

新任教員 (五十音順)

1 最終出身校 2 主な担当科目 3 ひとこと



A. ジェネス (A. ジェネス)  
外国語学部英語学科 准教授

- 1 大阪大学大学院人間科学研究科
- 2 Lecture Workshop, Writing Skills, Reading Strategies, 英語専門講読、シネマ英語
- 3 I've been teaching part-time at Dokkyo since 2014 and love the students and atmosphere. I'm delighted to join the faculty.



L.K.ハーキンス (L.K.ハーキンス)  
外国語学部交流文化学科 特任講師

- 1 University of Arizona
- 2 Writing Strategies, Reading Strategies, Communication Skills, Comprehensive English, Discussion.
- 3 I've been working at Dokkyo for many years and I've enjoyed many time have and all of the wonderful students. Let's work together to further your educational experience.



相澤 啓一 (あいざわ・けいいち)  
外国語学部ドイツ語学科 特任教授

- 1 東京大学大学院
- 2 通訳特殊演習
- 3 ドイツ語を通して日本とドイツ、言語と文化、大学と社会をつなぎ、視野を広げていきましょう。



岩田 安晴 (いわた・やすはる)  
経済学部経済学科 教授

- 1 一橋大学大学院
- 2 日本経済論、マクロ経済学
- 3 私たちを取り巻く経済社会は大きく変化しています。日本経済の課題について一緒に考えていきましょう。



川崎 聡史 (かわさき・さとし)  
外国語学部ドイツ語学科 専任講師

- 1 東京大学大学院
- 2 ドイツ語圏とEU、ドイツ語圏の地域・環境問題、総合ドイツ語、基礎ドイツ語 等
- 3 ドイツの近現代史、社会、政治について皆さんと一緒に議論しながら学べるのを楽しみにしています!



児玉 真希 (こだま・まき)  
外国語学部英語学科 専任講師

- 1 Rice University (アメリカ合衆国)
- 2 Reading Strategies, 英語圏のエア・スタディーズ 等
- 3 アメリカ合衆国の歴史、特に人種、ジェンダー、労働に関して皆さんと一緒に学びを深めていきたいです。



佐々木 淳希 (ささき・じゅんき)  
外国語学部ドイツ語学科 専任講師

- 1 京都大学大学院文学研究科
- 2 ドイツ語圏現代社会概論、総合ドイツ語 等
- 3 西ドイツの政治史が専門です。現代の社会秩序が歴史的にどのように形成されたか一緒に考えていきましょう。



柴田 守 (しばた・まもる)  
法学部法律学科 教授

- 1 専修大学大学院
- 2 刑事政策、法心理学 等
- 3 日本の刑事政策がより良いものになるよう、学生のみなさんと一緒に考えていきたいと思ひます。



野崎 亜紀子 (のざき・あきこ)  
法学部総合政策学科 教授

- 1 千葉大学大学院
- 2 法哲学、法思想史 等
- 3 自由を満喫するという難題に思考を啓(ひら)くという角度から、皆さんと共に取り組みたいと思っています。



松原 沙織 (まつばら・さおり)  
経済学部経営学科 教授

- 1 横浜国立大学大学院
- 2 会計学原理 等
- 3 会計に関わる事象を学際的に研究しています。会計の学びを通して、人生の視野を広げていきましょう。



横塚 志行 (よこづか・しこう)  
経済学部経営学科 特任教授

- 1 早稲田大学大学院理工学研究科
- 2 特殊講義(データサイエンス入門)、特殊講義(AI入門)、特殊講義(情報システム概論) 等
- 3 今、AIは日進月歩の進歩を続けています。そのような時代だからこそ、私たちはAIについて学び、どのように活用すべきかを一緒に考えていきましょう。



脇 拓也 (わき・たくや)  
経済学部経営学科 准教授

- 1 慶應義塾大学大学院
- 2 経営戦略論、経営学
- 3 経営学の考え方は個人の目標達成や有意義な人生を送るうえで有効です。是非、一緒に楽しく学びましょう!

新任職員 (五十音順)

安部 健太 (あべ・けんた)  
徳永 果蓮 (とくなが・かれん)

小島 俊介 (おだしま・しゅんすけ)  
中西 裕子 (なかにし・ゆうこ)

加藤 登志子 (かとう・としこ)  
初山 実沙 (はつやま・みさ)

工藤 隆弥 (くどう・りゅうや)  
松田 彬恵 (まつだ・あきえ)





# 芸術・文化に触れよう!

—— 文化施設利用制度のご案内 ——

学生証の提示で博物館・美術館への入場が無料(割引)になります。

## ■ 東京国立近代美術館

1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。



撮影：上野則宏

■ 東京メトロ東西線 竹橋駅下車

## ■ 東京国立博物館

日本を軸に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開している。お薦めは重要文化財にも指定されている本館(日本ギャラリー)。



■ JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車

その他、下記施設でも制度が適用されます。

国立工芸館(石川県金沢市)

国立西洋美術館

国立新美術館

国立映画アーカイブ

国立科学博物館 附属自然教育園

筑波実験植物園

江戸東京博物館(休館中)

東京都美術館

東京都現代美術館

東京都写真美術館

東京都庭園美術館

東京芸術劇場

東京文化会館

## ■ 国立科学博物館

日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているもの他に収蔵品の数は485万点を超える。



■ JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車

## ■ 江戸東京たてもの園

都立小金井公園の中に位置し、敷地面積約7ヘクタール。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示している。



■ JR中央線 武蔵小金井駅下車

## ■ 国立劇場

わが国の伝統芸能の保存および振興を目的として設立。歌舞伎、文楽をはじめ、舞踊、邦楽、民俗芸能、声明、雅楽等のさまざまな芸能を上演している。



※2023年11月より2029年まで閉場。他劇場施設にて公演事業継続。

## ■ 草加市文化会館

草加市に内外から一流の芸術家を招へいし、質の高い芸術を鑑賞する場を市民に提供している。



■ 東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅下車



制度の詳細については大学ホームページをご確認ください。

(大学HP美術館・博物館等の利用特典制度)

特典内容、開館時間、休館日等詳細は、各施設公式ホームページをご確認ください。

## ぶらりらいぶらり Vol.106 図書館の「基本」を知って、活用しよう



新学期を迎え、1ヶ月が経ちました!オリエンテーションなども一息ついたところで、「新しいことに挑戦してみよう!」という方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、獨協大学図書館の「基本」をご紹介します。これからの学生生活で、図書館を有効に活用してくださいね!

### ■ 基本① 資料を探す

獨協大学図書館では、100万冊を超える資料を所蔵しています。OneSearch(まとめて検索)なら、図書や雑誌のほかにデータベースもまとめて検索でき、とても便利です。図書館の所蔵資料のみを検索する時は、蔵書検索(OPAC)も活用してください。



### ■ 基本② 資料を借りる

本と学生証をもって、1・3階のカウンターで手続きを行ってください。1階には自動貸出機もあります。

### ■ 基本③ 相談する

資料探しなどで困った時は、レファレンスカウンター(1・2階)へ相談してください。レポートの書き方や、データベースの使い方などの質問も受け付けています。



### ■ 基本④ 勉強する

中庭が見える閲覧席やPC設置席などがあります。グループ利用席や共同学習室もあるので、その時の学修スタイルに合わせて、利用してください。



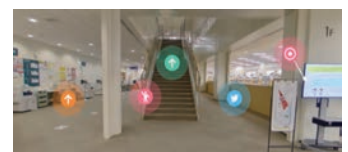
図書館へは学生証をかざして入館します。



プレゼンの練習は共同学習室で!

### 「図書館360°ヴァーチャルツアー」も要チェック!

スマートフォンやPCから、360度撮影された館内を自由に見ることができます。館内にある様々なアイコンを、タップ/クリックして、図書館を自由に探検してみてください。ツアーの途中で、Maus™(マウス™)からの隠しメッセージがあるかも!?



360°ヴァーチャルツアーはこちらから!



# 獨協大学の防災

安心安全なキャンパスライフのために

## 安否確認サービス利用登録しましたか？

本学では、災害時に学生や教職員の安否を確認するため、セコムトラストシステムズ株式会社が提供するセコム『安否確認サービス』を導入しています。災害時に自身の安否状況を報告できるよう、利用登録を行ってください。

### <利用登録の手順(スマートフォンの場合)>

1. e-革新サービスへログイン

<https://www.e-kakushin.com/login/>

ログインに必要な企業コード、ID、パスワードは獨協大学Webメールにお送りしています。

2. 本人情報の変更

画面右上の「メニュー」→「アカウント管理」→「パスワード変更」から初期パスワードを変更後、図1のページ最下部の「本人情報を変更する」を押し、必要な情報登録、修正を行ってください。特に図2の以下3項目については、各人により追加の登録をお願いします(登録は任意)。

図1

図2

利用登録、利用方法の詳細はPorTaIIダウンロードセンターで公開しています。

PorTaII > ダウンロードセンター > 防災 > セコム安否確認サービス  
問い合わせ先 総務課 048-946-1785



QRコードからe-革新サービスのログイン画面にアクセス！



### 防災マニュアル

安否確認サービスの回答方法、学内避難経路図の情報などは携帯サイズの「携帯用防災マニュアル」に掲載しています。



防災マニュアル▶

## 獨協大学の防災対策

### 防災備蓄品

災害時に帰宅困難者が発生することを想定し、食品や日用品をキャンパス各所に備蓄しています。

備蓄食品については、アレルギー対応食を基本としつつ、緊急時にも口にしやすいものを採用しています。

フードローテーションのため、備蓄食品を定期的に学生の皆さんに配布したり、学生食堂と協力して防災コラボメニューとして特別価格で提供しています。

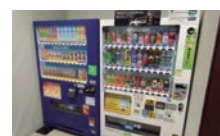
備蓄食品の配布と防災コラボメニューの提供は今年度も実施予定です。普段あまり接することのない防災食をこの機会にご賞味ください。



本学の防災備蓄品の一例  
防災備蓄食品1DAYセット  
1人1日分の食糧が入った充実の3食セットです。



昨年度実施した防災コラボメニュー 防災麻婆丼 300円



### 災害救援自動販売機

災害時に飲料を誰でも簡単に無料で取り出すことができる災害救援自動販売機をキャンパス各地に合計18台設置しています。

▲西棟1階に設置されている災害救援自動販売機

### かまどベンチ

北庭にあるベンチは、通常はベンチとして使用し、災害時に座板を外すことで炊き出し用かまどとしても利用できます。



## 毎年10月は防災訓練が開催されます

2023年10月18日(水)15:05～

※3限目の授業終了10分前から避難放送開始

獨協大学では例年10月に全学的な防災訓練を実施しています。災害時に被害を最小限にとどめるための意識付けや防災スキルの向上が目的です。学生は避難訓練や消火訓練、安否確認サービスの利用訓練などに参加します。昨年は草加市危機管理課の協力を得て、災害対策用のテントなどを設営したほか、障がい者支援の取り組みとしてイーバックチェア利用想定訓練も実施しました。

日頃からの備えが、いざという時に大切な命を守ることに繋がります。大学内で地震が起きたら、まずは身をかがめ、机の下などに入り、頭を保護するなど身の安全を図りましょう。揺れが収まったら、放送の指示に従って避難します。なお学内の避難場所はグラウンドが原則です。



起震車体験の様子



消火器使用訓練の様子

[2022年度防災訓練]



# 大学からのお知らせ

## 学校において予防すべき感染症

「学校において予防すべき感染症」は学校における感染拡大防止のため、学校保健安全法・学校保健安全法施行規則により「出席停止期間」が定められています。下記感染症と診断された(疑いも含む)場合、速やかに「[感染症入力フォーム](#)」に入力してください。折り返し、保健センターから連絡します。 [感染症入力フォーム](#)▶



### 学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症

第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)、特定鳥インフルエンザ
第2種	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く)、百日咳、麻疹(はしか)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、風しん(三日ばしか)、水痘(みずぼうそう)、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

【新型コロナウイルス感染症について】新型コロナウイルス感染症の取扱いが5月8日から変更される予定です。PorTaIIおよび大学ホームページにてご確認ください。

### 個人情報

#### 個人情報保護について

本学では、個人情報を取扱う場合に生じる人権侵害から個人を保護するために、本学が保有する個人情報の取扱いに関して必要な事項を定め、本人の権利、利益及びプライバシーの保護に努めています。

問い合わせ先

総務課 048-946-1639



個人情報保護について▶

### キャンパス人権委員会

#### キャンパス・セクシュアル・ハラスメント防止のために

本学では「キャンパス人権委員会」を設け、委員が学生や教職員の相談に応じ、またセクシュアル・ハラスメント行為防止の啓発活動を行っています。詳しくは、PorTa II ダウンロードセンター

(学生用フォルダ > 学生生活 >

相談・ハラスメント防止 >

「2023セクハラ相談ガイド」をご覧ください。

[セクシュアル・ハラスメント防止に関するホームページ](#)▶



### 募集

#### 学生記者募集

獨協大学ニュースと一緒につくっていく仲間を募集します。学生会活動(クラブ・サークル)との掛け持ちもOK。下記日程で説明会を開催します。詳しくはPorTaIIをご覧ください。

説明会日時:5月16日(火)・17日(水)12:45~13:15※両日同じ内容です。

問い合わせ先:総合企画課広報係 048-946-1683

kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

獨協大学ニュース「Do!」と一緒に作りませんか?

### AED

#### AED(自動体外式除細動器)について

自動体外式除細動器は、突然の心肺停止の救命措置の際に使用する機器です。

設置場所は、獨協大学HP>学生生活>保健・安全衛生>自動体外式除細動器(AED)で確認してください。



AED設置場所▶

生前のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。(順不同)

河北 騰(かわきた・のぼる)  
名誉教授

2022年9月24日 病気のため死去、95歳

1970年 教授

1988年 教務部長

1992年 名誉教授

松田 幹夫(まつだ・みきお)  
名誉教授

2023年1月2日 病気のため死去、89歳

1972年 教授

1986年 学生会総務部長

2003年 名誉教授

富田 忠義(とみた・ただよし)  
名誉教授

2023年4月5日 病気のため死去、86歳

1984年 教授

1990年 経営学科長

2007年 名誉教授

青柳 明美(あおやぎ・あけみ)  
総務部人事課係長

2023年2月26日 病気のため死去、61歳

1980年 本学入校

情報センター業務課配属

2015年 総務部人事課係長

### 訃報



# 地域との開放的な交流の場 「獨協大学コミュニティスクエア」 竣工式を挙行政

獨協大学コミュニティスクエアが完成し、3月13日、竣工式を執り行いました。

式典には山路朝彦学長や吉田謙一郎獨協学園理事長をはじめ、設計・監理を担当した株式会社石本建築事務所、施工を担当した清水建設株式会社関係者らが出席しました。

山路学長は、式辞の中で、「かつて、この場所には『東洋一のマンモス団地』と謳われた松原団地があり、人々の暮らしの拠点となっていました。その松原団地の大規模な建て替え事業の構想が、この獨協大学コミュニティスクエア誕生の契機となっています。新たな街づくりのため、草加市、独立行政法人都市再生機構、獨協大学の三者が、2010年に『松原団地駅西側地域まちづくり連携協力協定』を結び、以来、地域社会の持続的発展のために協議を続けています。建学理念『大学は学問を通じての人間形成の場である』に則り、この『獨協大学コミュニティスクエア』が本学と地域を繋ぐ、豊かな人間形成の場所となることを願っています」と述べました。

この建物は、「学術研究・教育活動×地域との開放的な交流の場」をコンセプトに、自由度の高い第二のキャンパスとして利用されます。



## コミュニティスクエア施設紹介

ワークラボ①(座席数:各18席)



小規模なゼミ・学生会活動ができるスペースです。  
間仕切りを移動することで、3部屋を1部屋に連結させて利用することも可能です。オプションで貸出AV機器を使用することができます。  
座席数各12席のワークラボ②、各10席のワークラボ③もあります。

## コミュニティホール



大規模なセミナー・イベント等が可能なスペースです。  
AVワゴン、HDカメラ、レーザー光源液晶プロジェクターが常設されていて、倉庫には、椅子135脚、可動式机135卓、ホワイトボード、演台が保管されています。

## カフェラウンジ



カフェ風のキッチンを備えたスペースです。  
新たな雰囲気やゼミ・学生会活動・各種イベントに利用可能です。液晶ディスプレイ、ワイヤレスアンブレ、椅子16脚、テーブル4台、カウンターチェア6脚、カウンターテーブル2台が常設されています。

## テラス



建物の北側および東側には深い庇のテラスが設けられています。屋外でくつろげる空間としても使えますが、コミュニティホールやカフェラウンジのガラスを開け放すと、屋内と屋外が融合し、開放的な空間として利用できます。

## 新人事(4月1日付)

### ■役員

- ◇国際教養学部長 二宮哲(新任)
- ◇学生部長 岡村圭子(新任)
- ◇学生部次長 山崎尚(新任)
- ◇自己点検・評価室長 周劍龍(新任)
- ◇入試部長 山下裕歩(新任)
- ◇教育研究支援センター所長 田中善英(再任)
- ◇教育研究支援センター副所長 大澤舞(新任)
- ◇エクステンションセンター長 高橋均(新任)
- ◇地域総合研究所長 山田洋(再任)
- ◇環境共生研究所長 浜本光紹(再任)
- ◇外国語教育研究所所長 浅岡千利世(再任)
- ◇情報学研究所所長 山田恒久(再任)
- ◇ドイツ語学科長 上村敏郎(新任)
- ◇英語学科長 柿田秀樹(新任)
- ◇フランス語学科長 廣田愛理(新任)
- ◇交流文化学科長 L・G・ポンド(新任)
- ◇言語文化学科長 白井芳子(新任)
- ◇外国語学部教務主任 鈴木涼太郎(新任:5月1日付)
- ◇国際教養学部教務主任 明田川聡士(新任:5月1日付)
- ◇法学部教務主任 大川俊(新任)
- ◇保健センター附属診療所長 伊藤晋一(再任)
- ◇敬和館長 岡村圭子(新任)
- ◇地域総合研究所主任研究員 大谷基道(再任)
- ◇環境共生研究所主任研究員 大竹伸郎(再任)
- ◇外国語教育研究所主任研究員 三谷裕美(再任)
- ◇情報学研究部主任研究員 鈴木木淳(再任)
- ◇外国語学研究所主任研究員 永野隆行(再任)
- ◇外国語学研究所主任 金井満(新任)
- ◇地域と子どもリサーチセンター長 徳永光(新任)
- ◇学生会体育部長 中西貴行(新任)

### ■退職(3月31日付)

- ◇教員 古田善文、片山亜紀、横地卓哉、花本広志、武信彰、内倉滋

野上文子、藤野佳世子、朴鍾厚、澤真紀、嶋津格、渡邊一弘、山田健  
※は2023年度非常勤講師

### ◇年度途中退職教員

- 木原隆司
- 職員 加藤千恵子、富山澄子、大場勢津子、兼田博美、福島薫
- ◇年度途中退職職員 杉本結衣、針谷佳奈、青柳明美
- ◇嘱託職員 正垣典子、星島由香

### ■昇任

- ◇教授 上村敏郎(独)、水本義彦(英)、廣田愛理(仏)、林永強(言)、山本裕(済)、山森哲雄(済)、大坪史治(管)、レベドリス(関)、准教授 根木昭英(仏)、明田川聡士(言)、木村雪乃(関)
- ※( )内は所属学科。略称は16ページ参照。

### ■学外研修

- ◇ドイツ語学科 M・ラインデル(2024年3月31日~2025年3月31日)
- ◇国際関係法学科 岡垣知子(2024年3月31日~2025年3月31日)

### ■特別研究休暇

- ◇英語学科 上野直子(2023年9月24日~2024年9月23日)
- ◇経営学科 高松和幸(2023年4月1日~2024年3月31日)
- 小林哲也(2023年4月1日~2024年3月31日)
- ◇法律学科 藤田貴宏(2023年9月24日~2024年3月31日)

### ■交換教員

- ◇言語文化学科 林永強(2023年4月1日~2024年3月31日)





名誉教授  
古田 善文  
(ふるた・よしふみ)

「ベルリンの壁」が崩壊してから半年後の1990年4月にドイツ語学科に着任しました。激動のドイツ現代史を学生諸君とともに見つめ、議論しながら過ごした楽しく実り多い33年間でした。正式な定年退職まで3年残っていますが、少し早くみなさんとお別れします。長い間ありがとうございました。獨協大学とみなさんのこれからのご発展を心よりお祈りしています。



名誉教授  
武信 彰  
(たけのぶ・あきら)

教育・研究機関であるものの、  
ほどよくゲマインシャフト的な潤いに恵まれる  
本学において、長く学び、  
教えることができて幸せでした。  
在職中のご厚誼に対し、  
心より感謝申し上げます。



名誉教授  
内倉 滋  
(うちくら・しげる)

生まれは墨田区の向島ですが、  
幼稚園は草加のルミ学園です。  
小さい時から獨協大学を知っています。  
会計学徒にとっては憧れの大学でした。  
26年間勤務して、今では草加が、  
そして獨協大学が、第二の故郷になりました。  
26年間、ありがとうございました。

2022年度秋学期

# 「学生による授業評価アンケート」結果報告

授業評価アンケートは、授業に対する学生のみなさんの意見を伺い、今後の授業内容の改善を目的として各学期末に実施しています。アンケート結果は授業毎に集約し、授業を担当している教員や授業を開設している学部、学科にフィードバックしています。

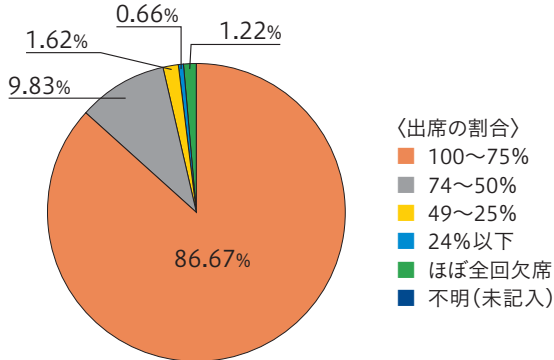
2022年度秋学期の授業評価アンケートは無事終了しました。大学全体での集計結果をご報告致します。個々の授業の集計結果は、PorTaIIをご覧ください。

## ■ 実施状況

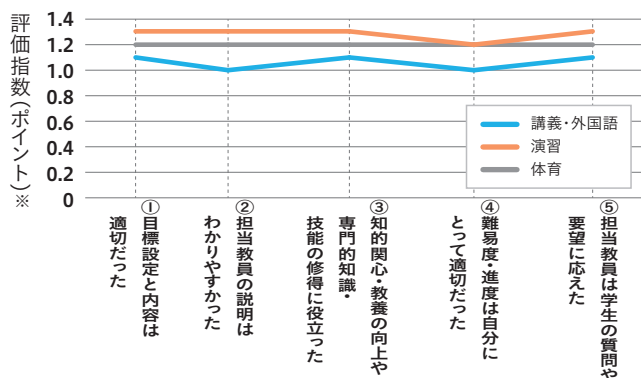
実施期間：2022年12月20日(火)～2023年1月24日(火) PorTaIIにて実施

	対象者数	回答者数	回答率
22年度秋学期	7,829	2,743	35.03%
21年度秋学期	7,811	2,519	32.24%

### 1. 出席状況(全学平均)



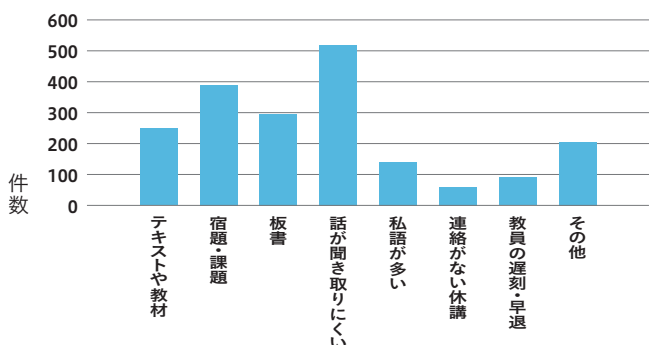
### 2. 授業評価(授業形態別)



※授業形態別の「講義」「外国語」とともに、全て同じ評価指数だったため、「講義・外国語」として、まとめています。  
※授業に関する5項目の質問の回答を「そう思う=1.5」「ややそう思う=0.5」「あまりそう思わない=-0.5」「そう思わない=-1.5」「わからない=0」として、平均値を算出し、評価指数(ポイント)としました。

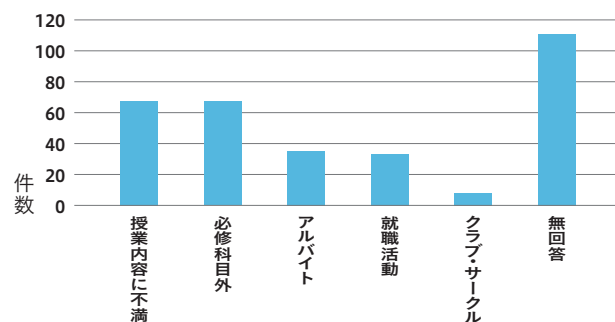
選択肢	ポイント
そう思う	1.5
ややそう思う	0.5
わからない	0
あまりそう思わない	-0.5
そう思わない	-1.5

### 3. 各授業の問題点(複数選択可)



### 4. 低出席理由(複数選択可)

1で、出席率が24%以下と回答した学生の欠席理由。



# 本箱

## 本学の先生方が執筆された新刊情報

町田 喜義(名誉教授)、平井 一雄(名誉教授) 分担執筆  
『小さな声で vol.5』

静人舎 2022年10月 800円



毎号特集を組み、人々の小さな声を取り上げて紹介する季刊誌『小さな声で』の第5号。vol.5は「戦争は知らない。けれど……」をテーマに、さまざまな声を届けます。

青木 義幸(言語文化学科非常勤講師) 分担執筆  
『韓国学ハンマダン』

岩波書店 2022年11月 2600円



K-POPなどの文化や、日本とも関係の深い歴史、社会、政治、それらに対するミレニアル世代の声まで。韓国の「今」を、現地経験の深い新世代の論者たちが語ります。韓国のことをもう少し知りたい方へ。

境 一三(ドイツ語学科特任教授) 共著  
『外国語教育を変えるために』

三修社 2022年12月 2400円



外国語教育が置かれた現状を、現在に至る歴史や背景から探る一冊。初等・中等教育にも目を向けつつ、求められる技能や授業設計法などから現在の外国語教育を見直します。

白川 貴子(交流文化学科非常勤講師) 訳  
(サラ・コブナー 著)

『帝国の虜囚 日本軍捕虜収容所の現実』

みすず書房 2022年12月 4800円



日本軍は本当に捕虜を虐待していたのか？本書では映画などに見る残虐なイメージを、女性やアジア人捕虜への扱いにも目を向けつつ、徹底的な実証研究で暴き出しています。

高橋 均(総合政策学科教授) 著

『グループ会社リスク管理の法務(第4版)』

中央経済社 2022年12月 2700円



グループ経営を担う会社が抱える課題について、法理論と実務の両面から取り上げる解説書。新たに設けられた株式交付制度等、関連法令の改正事項や直近の裁判例に対応しています。

右崎 正博(名誉教授) 著

『表現の自由の現代的展開』

日本評論社 2022年12月 5200円



憲法によって定められた人権である「表現の自由」が、意味を変え始めています。「国家からの自由」だけに収まらない、新たな「自由」とその意味を探り、問い直す一冊です。

若森 栄樹(名誉教授) 共訳(ジャック・デリダ 著)

『絵葉書Ⅱ — ソクラテスからフロイトへ、そしてその彼方』

水声社 2022年12月 5000円



現代フランスを代表する哲学者ジャック・デリダによるフロイトの精密な読解とラカンへの批判の書。精神分析の新たな地平を開く圏期的な論考。明快な翻訳となっています。

宗田 貴行(国際関係法学科教授) 著

『行政処分による消費者被害回復の理論 — EUデジタルプラットフォーム規制の考察と我が国の課題』

法律文化社 2023年1月 8200円



デジタルプラットフォームを介した取引による消費者被害に、法はいかにして対応するべきか？現行法の限界を指摘し、EUでの議論を参考にして対応策を提言しています。

秋本 弘章(経済学科教授) 共編著、鈴木 涼太郎(交流文化学科教授) 分担執筆

『地理学事典』

丸善出版 2023年1月 24000円

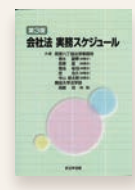


気候、地質、生物、経済、社会、文化、歴史など、分野横断的な裾野を持つ地理学を、基礎的事項、自然地理学、人文地理学、応用の4つに分けて解説する研究事典です。

高橋 均(総合政策学科教授) 共編

『会社法実務スケジュール(第3版)』

新日本法規 2023年1月 6500円



実務として求められる株式会社運営上のスケジュールを一覧的に掲載。会社法をはじめ、金商法等最新の法令に対応したスケジュールの管理・確認・関連手続きなどを解説します。

竹田 いさみ(名誉教授)、

永野 隆行(交流文化学科教授) 共著

『物語 オーストラリアの歴史 新版』

中公新書 2023年2月 1000円



南半球の多民族国家、オーストラリア。1788年に英国の植民地から始まったこの国の足跡を描いた物語を、料理や観光の魅力を伝えるコラムと共に活写しています。

浦部 浩之(言語文化学科教授) 分担執筆

『ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか — 国際政治学の視点から』

早稲田大学出版部 2023年2月 2500円



世界を大きく揺るがせるロシアのウクライナ侵攻、今も続くこの大事変はなぜ起きたのか？その背景と要因を、国際政治学の碩学たちがそれぞれの観点から読み解きます。

高安 健一(経済学科教授) 分担執筆

『経営倫理入門 — サステナビリティ経営をめざして —』

文真堂 2023年3月 2500円

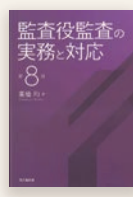


法を超えて企業の責任や正しさを求める「経営倫理」や、それを支えるSDGsやサステナビリティといった諸概念について、33名の研究者が自身の研究をもとに解説する入門書です。

高橋 均(総合政策学科教授) 著

『監査役監査の実務と対応(第8版)』

同文館出版 2023年3月 4000円



取締役の職務執行の監査を職責とする監査役実務について、法令の解説を踏まえつつ解説している実務書。15年の長きに渡って版を重ねているバイブル的書籍。第8版では、改正会社法・法務省令、改訂CGコードなどを反映しています。

井上 たか子(名誉教授) 共訳(シモーン・ド・ボヴォール 著)

『決定版 第二の性 I 事実と神話』

河出文庫 2023年3月 1350円

『決定版 第二の性 II 体験(上)(下)』

河出文庫 2023年4月 1200円



「人は女に生まれるのではない、女になるのだ」。哲学、文学、生物学、精神分析など、男に支配されてきた女の歴史を紐解きつつ、その未来を示すフェミニズムの画期的名著。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。



# 省エネについて考えよう!



本学は2021年3月に埼玉県SDGsパートナーとして登録し、県と連携してSDGsを普及する取り組みを行っており、中でも重点的な取り組みの1つとして「CO<sub>2</sub>排出量の削減」を挙げています。  
どのようにCO<sub>2</sub>排出量を削減しているかをご紹介します!

## 本学の最近の取り組み

### ■ 獨協大学コミュニティスクエア ■

「学術研究・教育活動 × 地域との開放的な交流の場」がコンセプトの第二のキャンパス

年間のエネルギー収支がゼロとなる建築物ZEBを実現した建物



### ■ 太陽光発電をはじめとしたキャンパス内マイクログリッド(学内発電網)などの省エネ設備 ■

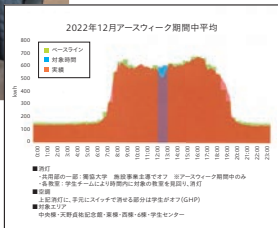
創立50周年記念館(西棟)太陽光パネル



学生食堂の照明のLED化

### ■ 省エネコンサルタントと省エネ・省CO<sub>2</sub>事業を推進 ■

2022年12月実施の省エネ委員会様子  
※Earth Week Dokkyo 2022 Winterイベントとして実施



2022年12月ライトダウンの効果

### ■ 学内の電力使用状況を確認 ■

獨協大学ホームページ(下段スペース)  
本学の電力消費がわかります。  
契約電力に近づいたら省エネをお願いします。



「電力使用状況の詳細をこちら」をクリックすると本日の電力使用量が見られる

### SDGs報告書を発行しました

本学のSDGsの取組を紹介する『獨協大学SDGs報告書』を毎年1回発行しています。

2022年度の報告書では、障がいのある学生支援やLGBTQ学生の支援を中心とした本学の「人権」の取組についても紹介していますので、ぜひご覧ください。

[https://www.dokkyo.ac.jp/about/dokkyo\\_SDGs\\_report\\_2022.pdf](https://www.dokkyo.ac.jp/about/dokkyo_SDGs_report_2022.pdf)



### 給水器増設とマイボトルの販売について

給水器の利用者増に対応するため、また脱プラスチックをより一層推進するため、給水器を3台増設し、オリジナルマイボトルの販売を開始しました。

プラスチックごみの削減に、さらなるご協力をお願いいたします。

[https://www.dokkyo.ac.jp/about/compliance/sdgs\\_n/hiroba.html](https://www.dokkyo.ac.jp/about/compliance/sdgs_n/hiroba.html)



### 学内省エネポスターのご紹介

「省エネルギー推進に関する専門部会」広報分科会では、より多くの学内の学生及び教職員に省エネルギーへの関心と協力を促すため、米山ゼミのご協力により省エネポスターを作成しました。





# Cover Story

さん

外国語学部フランス語学科3年

表紙に登場してくれたのは、昨年度の雄飛祭で開催されたグランツコンテストにてグランプリを獲得したさん。高校在学時、約1年間のベルギー留学でフランス語を学んだ経験がきっかけで、大学でもフランス語を中心に語学、観光、経済について幅広く学んでいます。

「人を笑顔にすることが好き。挑戦してみることの素晴らしさを1人でも多くの方に伝えたい」と語るさん。撮影を通じて、「普段何気なく見ているものの裏側には、たくさんのこだわりがあるということを知った」と語ってくれました。

表紙の個人撮影はもちろんのこと、所属する舞踏研究会で日々切磋琢磨しているメンバーとの撮影でも「輝く」という言葉がよく似合う瞬間が垣間見えました。



Photo by Satoshi Inokuchi

## 獨協大学グランツコンテスト (glanz contest) とは

グランツはドイツ語で「輝き」。コンテストを通じて自分の新たな輝きを見つけてほしいという願いが込められたコンテストです。

## 獨協大学学生サポート寄付金事業報告 (2022年12月1日～2023年3月31日)

2022年度12月1日より開始しました「獨協大学学生サポート寄付金」の募集につきまして、ここに2023年3月末日までのご寄付の状況をご報告いたします。ご寄付いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

■申し込み件数(延件数): 48件 ■総額: 9,740,500円

## 獨協大学学生サポート寄付金募集企業に対する協力について(お願い)

本事業は、「よりよい社会の構築に貢献する人材」を育成すべく、国際化推進、地域連携・地域貢献、校友会活動、自律学習など、学生の活動全般を広く永続的に支援することを主眼としています。

募集は永続的に行っていますので、今後とも皆さまのより一層のご協力をよろしくお願いいたします。

### (募金の種類)

- ・個人向けAプラン(1回のご寄付)………1口1,000円(10口以上でお願いします)
- ・個人向けBプラン(毎月継続のご寄付)………1口1,000円以上(1,000円単位×毎月引き落とし)
- ・法人の方は、総合企画課寄付金係までお問合せください。(☎048-946-1635)

申込方法等詳細は、本学ホームページ(<https://www.dokkyo.ac.jp/donation/>)をご覧ください。



## 読者アンケートにご協力ください

獨協大学ニュースでは、学生や保証人の方々が必要な情報、読みたいコンテンツを発信していきたいと考えています。今後の企画や掲載内容の参考にさせていただきますので、ぜひ読者アンケートにご協力ください。



編 集	総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp			
学 生 記 者	秋元 壮馬(営3年)	跡部 雄太郎(総4年)	池下 奈穂ヴェレーナ(独4年)	大久保 賢斗(営2年)
[五十音順]	岡田 陽依(英3年)	尾木 草輔(律4年)	金子 愛美(英2年)	斉藤 駿斗(律3年)
	佐藤 雪絵(仏2年)	田中 風羽(英2年)	長橋 すす音(言4年)	原友里恵(英3年)
	藤崎 ゆな(営3年)	古谷 一真(交3年)	吉見 麻菜(済4年)	渡邊 帆風(営2年)

略称表記(学科) 独…ドイツ語 英…英語 仏…フランス語 交…交流文化 言…言語文化 済…経済  
 営…経営 環…国際環境経済 律…法律 関…国際関係法 総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>

今回は7月号(7月1日発行予定)です

10!

獨協大学ニュース

2023 SPRING  
5月号  
VOL.480

©獨協大学2023 / 獨協大学 〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1 / 年4回発行